

## 写真の撮り方・・・その② 「露出補正 と ISO」

23期 元浦志信

写真を撮るときには最初にWB（ホワイトバランス）を天候条件や撮りたい状況に合わせて設定しますが、露出補正もWBと共にとても役に立つ機能です。

### 1. 露出補正 ～思い通りの明るさの写真に～

写真の明るさや暗さを調整する機能で、露出をプラスにすると明るい写真に、マイナスにすると暗い写真になります。ファインダーやディスプレイで、ちょっと暗いと感じたら露出補正をプラスに、明るすぎると感じたら露出補正をマイナスにします。

お勧めは1つの被写体に対して、露出を少し変えた写真を数枚撮影しておくことです。

↓の写真は左から露出補正+2、+1、±0、-1、-2で撮影した見本。



特に、逆光の状態ですナップ写真やポートレート（人物写真）を撮る場合には、露出補正をプラスにすることをお勧めします。

➤ +1/3～+2/3 程度に+1/3 ずつ増やして数枚撮るのが良いでしょう。

風景写真などの場合は、逆に-1/3 程度に露出補正をマイナスにして撮る方が良いでしょう。

➤ PCに取り込んだ後の修正がしやすくなる。

#### ● 露出補正をして撮影した場合の実際例

WB 晴れ、ISO 400、SS1/500 の同条件で撮影した写真



左：露出補正 +1



右：露出補正 ±0

➤ 露出補正を過度にすると「画像の白飛び」の原因になる・・・注意点

## 2. ISO感度 ～手ぶれする時に～

カメラの感度を調節する機能のことで、ISO感度を上げて撮影すると、夜や暗い部屋などで撮影する際も手ぶれしないで撮影できる。ISO感度を上げるとシャッタースピードも上がるため、手ぶれもし難くなります。ただ、ISO感度を上げ過ぎると画像が荒くなりますので注意が必要です。

### ● 暗い室内の水槽を撮影した場合の実際例 AWBでISO と SSを変更して撮影した写真



左 : ISO 800、SS1/125、+1



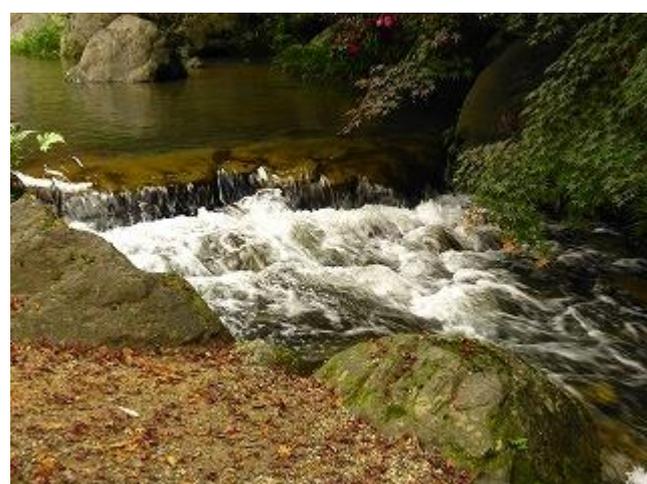
右 : ISO 1600、SS1/60、±0

➤ ISO感度を倍に上げ、SSを半分に減速したことで思い通りの写真になった。

### ● WB日陰、ISO800、露出補正+1/3 の同条件でSSのみ変更撮影した写真



左 : SS 1/100



右 : SS 1/40

➤ 水の流れもより鮮明に水流らしくなり、奥行きも明るい写真になった。

演習 :

~~~~~実際に逆光の状態ポートレート写真を撮影してみましょう。~~~~~